

或望居諫司

有事戡必言

或望居憲府

有邪戡必彈

惜哉兩不諧

沒齒爲閑官

竟不得一日

審審立君前

形骸從衆人

斂葬北邙山

平生剛腸内

直氣歸其間

賢者爲生民

生死懸在天

謂天不愛人

胡爲生其賢

爲天果愛人

胡爲奪其年

或は諫司に居かんことを望む

事有らば戡必ず言はんと。

或は憲府に居かんことを望む

邪有らば戡必ず弾さんと。

惜しいかな。兩つながら諧はず。

齒を没るまで閑官たり。

竟に一日も

審審として君前に立つを得ず。

形骸衆人に従ひ

北邙山に斂葬す

平生 剛腸の内

直氣其の間に歸す

賢者の生民を爲むる

生死懸つて天に在り

天 人を愛せずと謂はば

胡爲れぞ其の賢を生ず。

天 果して人を愛すと爲さば

胡爲(なんす)れぞ其の年を奪ふ。